

公表日

2025 年 1 月 20 日

事業所名

こぼんはうすさくら 川崎幸 教室

保護者等数(児童数) 49名

回収数 43件(割合87.7%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	4		5		・活動内容によって狭く感じることもありますが、心地よい環境で過ごせるよう配慮してまいります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	4		7	・外出時言め、何人対何人で過ごしているかわからない ・送迎時に2人体制で来てくれて安心していている	・何人体制で活動を行っているかをご理解いただけるよう周知してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	3		7	・バリアフリーかはわからない	・ももとの作り上バリアフリーではないところがあるが、できる範囲で改善してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	4		4		
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	1	2		・特性に応じて支援していただけていると実感している	・専門職の職員がいないが、職員全員で意見を出し合い特性に応じた対応ができるよう工夫してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	41			2	・いつも楽しく活動している。	・プログラム内容の充実化を日々目指しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	2			・面談で細かいことまで聞いてくれ、悩みの解決に向けた支援計画を作ってくれている	・見えている部分だけではなく、学校や他事業所の連携も踏まえご利用様に満足していただける支援計画を作成できるよう心がけていきます
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39	2		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40			3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	5		3	・子どもが季節に合った行事が楽しめるようプログラムが作られている	・プログラムの偏りがないよう工夫してまいります
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	7	8	20	・近くの公園で来ている子と遊ぶことがある	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	2		1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	2		3		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	18	10		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	42		1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43				・よく相談させてもらっている。	・いつでも連絡しやすい雰囲気作りや、コミュニケーションを今後も大切にしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	1			・よく子どもの様子を見てくれ連絡をもらっている。親の立場での目線の支援をしてくれている	・ご利用者様の状況を把握し、ご家族様のお気持ちに共感、共有しながら支援を深めていけるよう今後も心がけてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	20	12		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	3		5		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	41	1	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	2		参考程度に聞こうと思ったことが実は個人情報に関する事で「詳しくお答えしかねる」と言われ徹底されている。	・全職員が個人情報の重要性を理解し取扱いに留意できるよう今後も気を付けていきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	3		7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	40	2		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1		7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	2	1	2	・こまめに連絡をいただいている	・迅速な処置と連絡、その後の状況共有をしっかりと行っているよう気を付け、安心して過ごしていただけるよう努めていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	43				・長年一緒に通っている子が多く安心している ・同性の若い先生をお兄さんのように慕い子ども安心している	どの職員と関わっても安心して過ごせるよう日々のコミュニケーションを大切にしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	39	2		1	・長年通っているが自ら行きたいと言うほど楽しく通っている。 ・用事があってもこぼんだけは行きたいと言っている	・楽しく療育ができるよう、プログラム内容の充実や、支援の仕方を日々見直していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	41	2			・先生方の資格などがわからないため知りたい ・大変満足している	・職員の専門性を生かしながら、ご満足いただける療育を目指していきます。

公表日

2025 年 1 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 川崎幸 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・仕切りを作って活動に合わせた環境を設定している	・適切だと思うがトイレの数やクールダウン部屋などが足りない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・マンツーマンお子様がいる際は配置をより強化している	・送迎時に人数が少ないことがある為、安全を確保して過ごせるよう配慮していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・段差が少なく安全に過ごせるよう設定されている	・ももとの作りはバリアフリーではないが配慮できるところは改善していきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・明るい環境である ・物の管理や清掃ができています	・定期的に業者による清掃を依頼し衛生面での強化をしていきたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・部屋数は少ないが状況によって対応できるようにしている	・いつでも使用できるよう常にきれいに整理整頓していきたい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		・毎週のミーティングにて話し合いを行っている	・非常勤さんにも細かく周知していきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・全職員に伝え改善策をみんな考えている	・どんなところを改善できるかを把握しより良い支援ができるように考えていく機会を設けていきたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・ミーティングで行われている	・全員でミーティングを行う機会が少ない為、全職員がいつでも意見を言える環境を作していきたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10		・第三者における評価を行ったことがない為検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・教室内研修や、社内研修など様々な研修を行っている	・現在専門職がいいため、専門的な研修を強化していきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・一人一人の特性に配慮してプログラムが立案されている。またそれを保護者へも公表している	・プログラム内容の充実化や適正化を今後とも考えていきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		・児発管が定期的に面談し支援計画の作成を行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・児発管が面談した内容をもとにカンファレンスを行い職員の意見を聞きながら計画書を作成している	・支援に携わる職員全員で意見を出し合い検討していけるよう今後も行っていきたい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・作成された支援計画を全職員で共有して内容理解をして上で支援できるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・フォーマルなアセスメントを参考にしながら照らし合わせ、日々の行動を観察している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・より具体化し、支援内容が明確になるよう工夫している	・支援内容がご本人や、保護者様に的確に伝わるよう今後も気を付けていきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・毎月のミーティングで行っている。今後ともみんなで作成に携わっていく	・前回のプログラムについての振り返りを行い内容を見直し、充実させていけるようにしていきたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・他教室のプログラムなども参考にしながら固定化しないよう工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			・偏りがでないよう気を付けていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・朝と昼にミーティングを行い支援内容などの共通理解を行うようにしている	・スムーズかつ効率よく支援が行われるよう日頃から職員間のコミュニケーションをしっかりとっていきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		・その日の特記事項などを業務日報におとし全員に共有できるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・職員全員で記入の仕方を理解し、記入を基に改善点などを話し合えるようにしている	

適

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・児発管が定期的に面談を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10			・非常勤さんにもしっかり伝えていきたい
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		・自己選択ができるよう一人一人に合わせた支援が用意されている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		・児童相談所や療育センター、障害福祉事業所との連携を必要とあれ	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		・送迎時に先生と話す時間を設け子どもの様子を共有している	・共有してきた内容をきちんと周知でできるよう徹底していきたい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		・療育センターや教育機関と電話で様子の聞き取りなどを行っている	・直接訪問して様子を共有できるように改善していきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		10		・今現在、該当者がいないため今後状況に応じて対応できるようにしていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		・療育センターへの訪問など、助言をいただく機会を設けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		10		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		10		・今後、協議会の日程などを把握し積極的に参加していきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・送迎時などに様子を伝えたり、日頃から悩みや様子を共有できる関係を築いてけるように心掛けている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		10		・保護者様向けの研修は行っていないため、今後社内で検討していきたい
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		・契約時に丁寧に説明できるよう心掛けている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		・支援計画について書面で説明を行い、サインをいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・電話や対面での相談にいつでも対応できるよう日頃から声をかけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		10		・今後検討していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・管理者が早急に対応し、解決できるよう努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		・日々の様子をSNSや新聞などで毎週、毎月配信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・鍵付きの書庫で管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		・定期的な面談を元に寄り添っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10		・今後地域の方とも交流を深めていきたい
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・毎月必ず訓練を行っている	・より一層、災害時の訓練内容の強化を行っていききたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		・保護者様と連携をとったうえで、適切な対応がとれるよう確認している	・より一層、災害時の訓練内容の強化を行っていききたい
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		・アレルギーのこどもについて保護者様と共通理解をし、適切な対応ができるようにしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		・毎月、安全計画について必要なチェック項目や研修に取り組んでいる	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			・よりわかりやすく、また定期的にお伝えできるようにしていきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・毎日、ヒヤリハットの該当する内容を全員に周知し、再発防止策を考えている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・虐待についての研修を行い、日々意識して過ごせるように周知している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		・理解をして上でやっている	